

## 実践記録

学校/学年	小学校 / 6 年	
教科等：単元名	総合：情報モラル 「インターネットのホームページを見るときのルールについて考えよう」	
キーワード	インターネット	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。 e 3：情報を正しく安全に利用することに努める。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d 3 - 2 不適切な情報であるものを認識し対応できる。 e 3 - 1 情報の正確さを判断する方法を知る。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	インターネット上の危険性を知り、危険が予想されるサイトへは入らないように判断したり、危険性に遭遇した時の対処方法が分かるようになる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶN e t モラル、ハムハムのオンライン教室
	製作者	広島県教育用図書販売株式会社、ベネッセ
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」 <a href="http://benesse.jp/education/students/onlineroom/homepage/">http://benesse.jp/education/students/onlineroom/homepage/</a>

### 展開案

	学習活動	指導 評価
導入	・ N e t モラル「不適切なW e b ページに出会った時の対処法」を視聴し、インターネット上に危険があることを知る。	・ 教師用 P C の画面を児童 P C に転送して視聴させる。 ・ 必要に応じて画面を止めて考えさせる。 ・ まとめの映像クリップで大事なところをまとめる。
展開	・ 疑似サイト「ハムハムのオンライン教室」を使っているいろいろなサイトを見る。 ・ 危険性がどんな所に潜んでいるか、最後のボタンをクリックしていいかどうか、自分で判断しながらW e b ページを見る。 ・ 危険性に遭遇した時の対処法を知る。	・ 8 つある疑似サイトのうち、1、2 番目のサイトでやり方を確認する。 ・ 最後のボタンをクリックするかしないか判断させ、その理由をワークシートに書かせていく。 ・ 残りのサイトを各自で進める。 ・ 最後に、すべてのサイトで最後のボタンを押すとどうなるか、確認していく。
おわり	・ 今日の学習を振り返り、インターネット上にはどんな危険性があるのかをまとめる。 ・ 危険なことに遭遇した時にはどう対処すればいいのかをまとめる。	危険だったり、怪しかったりするサイトに出会った時の対処の仕方が理解できたか。 ・ ワークシートでインターネットを使う際のルールを確認させる。

### 授業の成果

- ・ コンピューターやインターネットがとても身近な物になってきており、友だちと遊ぶ時にインターネットをしたり、インターネット上で友だちと待ち合わせをしてチャットを楽しんだり、オンラインゲームをしたりしている子も多い。
- ・ 本時の授業では、どんなところに危険があるのかよく考えながら最後のボタンをクリックするかどうかが判断することができた。ワンクリック詐欺など、クリックしただけでお金を請求されることがあるということにはさすがに驚いていた。学習カードの感想から、今後の使い方について気をつけようとする意識を持った児童が多数いることがわかった。

- ・今回授業をする事で、インターネットを使う際のルールや危険性について理解することができた。また、インターネット上に書かれたことを何でも信用しないこと、自分で判断することが大切であること、困ったことが起こった時には大人に相談すること、など対処の仕方が重要であることを気付かせることができた。

#### **指導のポイント・留意点**

- ・インターネットはとても便利で楽しいものだが、以下の点に気をつけて安全に利用することが大切である。
- ・困ったことに遭遇した場合には、自分だけの力で何とかしようとせず、お家の人や先生など大人に相談することが大切である。

#### **インターネットを使用する際の基本的なルール**

1. インターネットを利用する時にはお家の人と相談し、必ず家の人が目が届くところで楽しむ。子どもだけでこっそりやらない。
2. インターネット上で書かれていることをなんでも信用しない。本当かどうか確かめる習慣をつけることが大切。
3. 他人に自分や友だちの個人情報（名前、住所、電話番号）を教えない。また個人を特定できるような自分や友だちの写真・動画を勝手にインターネット上に載せない。一度掲載されると削除するには時間と手間がかかり、大変なことになる。
4. チェーンメールに参加したり、本当かどうかわからない情報を流したりしないようにする。メールを受け取った相手を傷つけることにもなるので、怪しいメールなどは開いたり、返事を書いたりしない。
5. インターネット上では、その人の本当の年齢や性別、性格がわからない。もしかしたら「小学生」になりすましている大人かもしれないので、会う約束はしないようにする。
6. 怪しいサイトにアクセスしない。（アクセスしただけで料金を取られることもある。）なんでも「はい」、「Yes」をクリックしない。「怪しい」と思ったら先に進まずに「戻る」や「×」をクリックする。